

1 事業概要

		課名	商業・市街地活性化課	事業No.	205
		会計	一般会計		
事務事業名		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H28	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		1	若者が帰ってこられる産業をつくる	
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
法令・例規等			飯田市空き店舗活用推進事業補助金交付要綱		
事業目的	対象	若者等で店舗等の起業・創業を目指す者			
	意図	商店街等の空き店舗を活用して開業することで、商店街全体の活性化を図る			

2 事業内容

30年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	商店街のコミュニティ施設、または、起業家支援店舗として空き店舗を活用する事業者及び団体を支援し、創業支援や新規出店環境の向上を図りながら、商店街のにぎわいの創出に繋がりました。また、商店街の空き店舗における新規出店や創業をする事業者を支援しました。		まちなか創業空き店舗活用事業補助				723	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度
	空き店舗活用補助件数		件	3	4	3		
30年度決算(千円)	予算額		1,500	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		723					
	財源の状況	国庫支出金		0				
		県支出金		0				
		地方債		0				
		その他		0				
一般財源		723						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	2	11	4	1,500	723	にぎわい創出店舗活用事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		平成28年度から若者等で起業・創業を目指す者に商店街の空き店舗を活用するよう誘導する支援に変更して、今年度3件の実績を上げることができました。年度中に創業予定であった3件が本人の都合により中止となりましたが、中心市街地での2件の創業を支援することができました。							
上記の課題解決のための有効策		相談のあった起業・創業者への連絡を定期的に行い事業の進捗状況を確認しながら支援を行っていきます。市の関係課、民間の事業者と連携を図りながら、創業支援を行っていきます。							
次年度に向けての取り組み		飯田商工会議所や金融政策課と連携し、商店等の起業・創業を目指す若者等に商店街等の空き店舗活用を誘導するために、施設改修や設備整備等に係る経費を補助します。特にI-Portやビジネスプランコンペとの連携を図ります。合わせて、商店街活動の活性化を図るために、商工会議所、商店街組織への加入を促します。							